

## チョコレートポリバイテックス添加寒天培地 (PVX)

Chocolate agar + PolyViteX (PVX)

栄養要求性の厳しい細菌の分離

### 用途

チョコレートポリバイテックス添加寒天培地は、特に *Neisseria* 属や *Haemophilus* 属、そして *Streptococcus pneumoniae* のような栄養要求性の厳しい細菌を分離するための培地です。

### 原理

本培地は、ヘモグロビンとポリバイテックスによって得られる X 因子(ヘミン)と V 因子(NAD)を含む栄養価の高い基礎培地で構成されています(1,4)。

#### 調整済み培地

REF 43101 平板培地 10 枚(90mm) × 2 パック  
PVX\*

\*各シャーレに印字

### 組成

#### 理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

#### 精製水中の組成 (g/L)

カゼインペプトン(ウシ) .....	7.5g
肉ペプトン(ウシまたはブタ) .....	7.5g
コーンスターチ .....	1g
リン酸水素二カリウム .....	4g
塩化ナトリウム .....	5g
ヘモグロビン(ウシ) .....	10g
寒天 .....	10g
ポリバイテックス .....	10mL

pH7.2

### 必要な器材

- 炭酸ガス発生装置
- ジャー
- ふ卵器、又はガス環境と温度の調整されたチャンバー

### 使用上の注意

- in vitro* 試験のみにおいて使用して下さい。
- 熟練者が使用して下さい。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。これらは潜在的に感染の可能性のあるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した製品は伝染性であるものとして適切にお取り扱い下さい。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱い下さい。**安全ガイドライン**: CLSI® M-29A, «*Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline – Current Revision*» **操作留意事項**: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories – CDC/NIH – Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。

- パッケージの損傷した製品は使用しないで下さい。
- コンタミネーションの起きている培地または水分の浸出している培地は使用しないで下さい。
- 性能試験は、この添付文書に従った使用方法にて得られた結果を示しています。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 試験結果の解釈は、患者背景、検体の由来、コロニー形態および顕微鏡学的形態を含めて考慮して下さい。また必要に応じて、その他の試験方法で結果を確認して下さい。

### 保管方法

- 箱未開封の状態、2-8°C下で**有効期限まで**保管可能です。
- 箱未開封の状態、15-25°C下で**4週間**保管可能です。
- 箱開封後セロファン袋中では、2-8°C下で**2週間**保管可能です。

### 検体

あらゆる検体を使用することができます。また、検体は培地に直接塗布して使用して下さい。

採取や輸送に関しては GLP(Good Laboratory Practices)に準拠し、検体の種別によって適切に処理して下さい(2)。

本培地は純培養のためのサブカルチャーに使用することもできます。

### 使用法

- 培地を室温に戻します。
- 検査室にて受付後、直ちに検体を塗布します。
- 適切な大気環境 (CO<sub>2</sub> 環境下) で培養するために、必要に応じて炭酸ガス発生装置を使用して下さい。
- フタを下側にして 37°C で培養して下さい。用途に応じて、最新の標準法を参照し適切な温度で培養して下さい。また、検体の種類や試験される細菌によって培養時間は異なります。通常、24-48 時間培養後に結果の読み取りを行います。培養時間を延長する必要が生じる場合もあります。

### 判定

- 培養後、微生物の発育を観察します。
- 分離された細菌の同定は、生化学試験または免疫学的試験を実施して下さい。

### 品質管理

#### プロトコール:

本培地は、下記の標準菌株を用いて試験を行います(CO<sub>2</sub> の豊富な環境下で培養)。

- Neisseria gonorrhoeae* ATCC® 43069
- Haemophilus influenzae* ATCC® 10211

#### 精度管理限界値:

使用菌株	33-37°Cでの試験結果
<i>Neisseria gonorrhoeae</i> ATCC® 43069	24 時間後に発育
<i>Haemophilus influenzae</i> ATCC® 10211	

#### 注意:

培地の用途を考慮し、適切な規制(頻度、菌株数、培養温度、抗菌薬の選択等)に従って品質管理を実施されることをお勧めします。

**留意事項**

- まれに寒天培地内にヘモグロビンの粒子が存在することがありますが培地の性能に影響を与えることはありません。
- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な栄養要求性をもつある種の株においては発育しないことがあります。
- 検査される検体や試験される細菌によっては、本品とチョコレート ポリバイテックス VCAT3 添加寒天培地やコロニビア 5%ヒツジ血液寒天培地との併用を推奨します。

**性能**

本培地の性能を、77 株の細菌 (*Neisseria gonorrhoeae*, *N. meningitidis*、非病原性 *Neisseria*、*Haemophilus*、*Streptococcus pneumoniae*、他のレンサ球菌、ブドウ球菌、その他のグラム陽性菌、グラム陰性菌) と 6 株の真菌 (*Candida*) を用い、37°C の環境下で評価しました。

**発育支持能:**

全ての菌株 は 24 時間後に発育しました。

**廃棄処理**

使用済みもしくは使用していない試薬の廃棄は他の汚染した廃棄材料と同様、感染性もしくは感染の危険のある製品の取り扱い方法に従って行って下さい。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄して下さい。

**参考文献**

1. CATLIN W. – Nutritional Profiles of *Neisseria gonorrhoeae*, *Neisseria meningitidis*, and *Neisseria lactamica* in Chemically Defined Media and the Use of Growth Requirements for Gonococcal Typing – *J. Infect. Dis.*, Aug. 1973, vol. 128, n°2, p. 178-194.
2. EVANGELISTA A.T., BEILSTEIN R.H. – *Cumitech 4A. Laboratory diagnosis of Gonorrhoea* – Ed. American Society for Microbiology, 1993 - ISBN 1-55581-C04-A.
3. MARTIN J.E., BILLING T.E., HACKNEY J.F. and al. - Primary isolation of *N. gonorrhoeae* with a new commercial medium - *Publ. Health. Rep.*, 1967, vol.82, n°4, p.361-363.
4. STULL T.L. – Protein Sources of Heme for *Haemophilus influenzae* – *American Society for Microbiology*, 1987, p. 148-153.

**記号**

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

ビオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

\*本添付文書は、下記Webサイトからダウンロードできます。  
<http://www.biomerieux-jp.net/>

**ビオメリュー・ジャパン株式会社**

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号赤坂溜池タワー2 階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>

 **bioMérieux SA**

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax133(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



**BIOMÉRIEUX**